

初詣ウォーク 鳴海宿から笠寺観音・富部神社・熱田神宮参拝へ

行先地 愛知県名古屋市中
担当者 清水稔・堀重子・武藤みほ

例 会 案 内

[期 日] 2026 (令和8) 年1月11日 (日曜日) 日帰り 雨天決行

[集合場所] 名鉄鳴海駅 西改札口前 集合 開会式 スタート (注) 駅構内しかWCはありません。

[集合時間] 午前9時 (時間厳守)

[歩行地] 名鉄鳴海駅(集合、開会式、WC)～鳴海城趾之碑(天神社内)～鳴海城跡公園(休憩、WC)～本陣跡～秋葉常夜灯(鳴海宿西口)～鉾ノ木貝塚～天白橋～赤坪公園(WC)～笠寺一里塚～笠寺観音(参拝、WC)～富部神社(参拝)～呼続公園(昼食、WC)～山崎橋～東ノ宮神社～徳波公園(WC、閉会式)～熱田橋～熱田追分道標～熱田神宮入口(解散、参拝、WC)～名鉄神宮前・JR熱田駅・地下鉄熱田神宮駅

[解散場所] 熱田神宮 ゴール 解散 ※閉会式は徳波公園で行う。

[交通機関] 往：名鉄岐阜駅・・・・名鉄金山駅・・・・名鉄鳴海駅 ※名古屋本線、急行以下が停車します。
8:02 発特急空港行 8:34 着(乗換)8:41 発準急豊明行 8:51 着
JR大垣駅～JR穂積駅～JR岐阜駅～JR/名鉄金山駅～名鉄鳴海駅
7:54 発 7:59 発 8:06 発 8:32 着(乗換)8:41 発名鉄準急豊明行 8:51 着
復：帰路は名鉄神宮前駅・JR熱田駅から、時間を自由選択してお帰り下さい。※地下鉄も利用可。

[交通費] 名鉄岐阜⇒名鉄鳴海 900 円 名鉄金山⇒名鉄鳴海 330 円 JR大垣⇄JR金山 870 円 JR岐阜⇄JR金山 550 円
名鉄神宮前⇒名鉄岐阜 750 円 JR熱田駅⇒JR岐阜 690 円 ※交通系カードの利用可

[参加費] 会員・家族会員は無料。当日のみの参加者を歓迎しますが、参加費用(傷害保険費・下見調査費・資料代等を含む)として中学生以上は500円、他協会の会員は400円を徴収します。

[見どころ] 鳴海宿：宿場としての遺構はほとんどないが、多くの寺社が残っている。江戸期、本陣1軒、脇本陣2軒、旅籠屋68軒、人口3600余名。宿の東と西の出入り口に常夜灯が残された1.5⁺の宿場。
鳴海城：織田家の家臣の支配にあり、今川に対抗する拠点であったが、家臣が寝返り、今川義元の前線基地として譜代岡部元信が差配。桶狭間の戦いで信長が奪取、その後廃城となる。
笠寺一里塚：東塚、日本橋から88番目の一里塚、高さ3m・直径10mの塚で、塚そのものが榎の根。
笠寺観音：真言宗智山派天林山笠覆寺。尾張4大観音(甚目寺観音・荒子観音寺・龍泉寺)の一つ。笠覆寺の由来は、寺(元は小松寺という)が荒廃し雨ざらしになっていた観音に笠をかぶせ娘が、のちに都の藤原兼平の妻玉照姫となり、寺を再興したことによる。
富部神社：清洲藩主松平忠吉(家康の四男)が津島神社より牛頭天王を勧請し創建したといわれる。忠吉は病氣平癒の報恩として社殿及び神宮寺として天福寺を建立、社領百石を寄進。別称蛇毒神社、蛇毒神天王社。本殿は桃山様式で国の重要文化財(愛知県の神社で唯一の指定)。
塩付街道道標：呼続浜で製塩された塩が小牧や信州方面に送られたことに由来する

[持ち物等] ①会員証・ワッペン・昼食・飲み物・おやつ・雨具(合羽等)・健康保険資格確認書(またはマイナンバーカード)。なお会員の多くは高齢者でもあります。万が一をお考えいただき、緊急の場合に備え、連絡可能な方の電話番号を参加票の下部・備考欄に明記していただければ幸いです。
②歩きやすい服装と履きなれた靴でご参加ください。
③インフル・コロナの感染症に十分ご留意を。なお微熱等体調不良の方は、参加をご遠慮ください。

[例会担当者] 事前の問い合わせ先

(チーフ) 清水 稔 090-4115-8484
(サブ) 堀 重子 080-1602-5086
(サブ) 武藤 みほ 090-6356-2302

[当日の連絡先]

岐阜県ウォーキング協会
080-2089-7265 (会長)